

「マイクロクレデンシャルのフレームワーク 1.0」と「マイクロクレデンシャルを
デジタル発行するためのガイドライン 1.0」に関する Q&A 集 No.2

JV-Campus/JMOOC マイクロクレデンシャル共同 WG

Q：「マイクロクレデンシャルのフレームワーク 1.0」に関する質問です。

本学では、数理・データサイエンス・AI教育を実施しています。「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けています。本学の数理・データサイエンス・AI教育を修了した学生に対し、マイクロクレデンシャルを発行する場合は、記述子はどのように記載すれば良いのでしょうか。

A：「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けた教育カリキュラムは、モデルカリキュラムを参考に、各々の大学に合わせた教育プログラムとして設計されています。マイクロクレデンシャルの記述子の「Title of the micro-credential マイクロクレデンシャル名称」、「Awarding body 発行機関」、「Content/ Description 内容」、「Learning Outcomes 学修成果」、「Form of participation 授業の方法」、「Learner Effort 学習量（総学習時間）」「Type of assessment 評価の方法」、「Credit/ Other Recognition 単位/その他の認定」などは各大学の教育プログラムに合わせて記載して下さい。

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」は、教育プログラムの質保証の仕組みをして位置づけられます。マイクロクレデンシャルの記述子「Type of quality assurance 質保証」に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」認定を受けていることを記載して下さい。記述子「Type of quality assurance 質保証」に記載が必須の内容は、「マイクロクレデンシャルのフレームワーク 1.0」に準拠していることと、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」認定を受けていることの二つです。